

高政商店、暴徒及び溝口リヤス、
溝口多議團五十名の生死の綱を握り高政商店の
店の此の態度を見よ。

九月二十四日突如として工場解散、全員解雇を聲明した所の溝口リヤス工場は家主が高政商店で工場主の溝口は其の差配の縁ふ関係にある溝口リヤス工場の全権は高政商店が握って居るのだ。此度の工場解散も組合を打つふし竟のまにに絞らんとする高政商店の意圖に出た事は全く明瞭である。かゝる関係にも拘はらずあくまで責任を回避し労働者は死んでも俺の方ではかまはぬと云ふ。

争議團は十二月二日、高政商店に交渉した時、明日(三日)に一口ヨイ回答をするからといっておき、下ら、三日には市會議員片山某を頼み込め、代表者(争議團の)を侮辱し、其上警察に虚報